

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

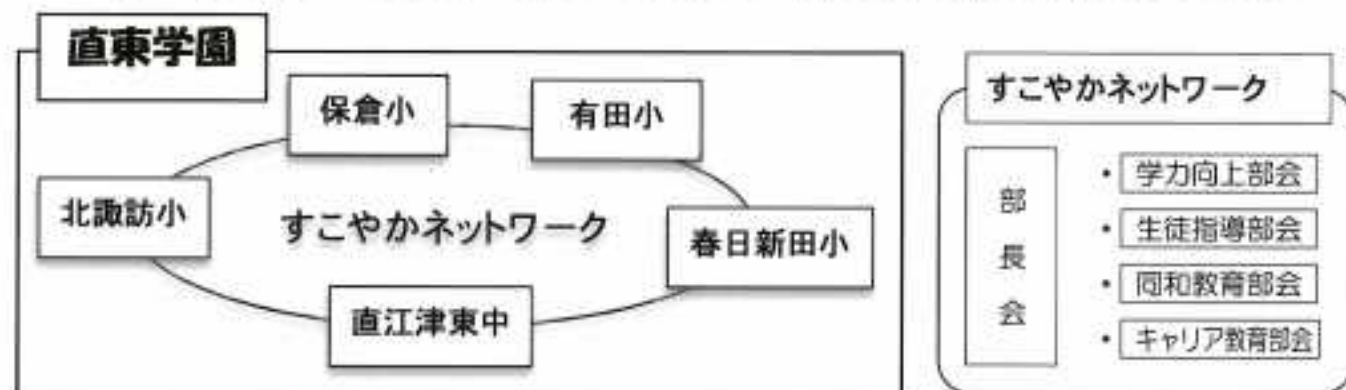
令和2年度 第2号
令和2年6月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL 025-543-2729
FAX 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

コロナ後の未来にはばたくために

直江津東中学校長 稲葉浩一

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応にそれぞれの立場でご尽力されておられますことに心から敬意を表します。一刻も早く終息し、新しい生活様式での日常が、各家庭・地域・社会全体で取り戻せることを祈っております。

さて、学校では新学期がスタートした後、休業措置から分散登校を経て、ようやく通常の授業ができるようになりました。その間の皆様からのご支援ご協力に感謝します。さらに、子どもたちが社会のルールを守り、自粛生活を送り、今また学校生活に戻ることができていることを嬉しく思っています。上越市民として地域の一員として、誇らしい態度であったと、感心しています。



直東学園「すこやかネットワーク」は、平成18年に生まれた直江津東中学校区の小中連携組織です。コミュニティスクール・直東学園運営協議会の発足から現在まで、上の図のように「学力向上」「生徒指導」「同和教育」「キャリア教育」の4つの部会で構成され、「部長会」は学園内小中5校の校長と理事長、事務局長で、月定例会を開催して運営・調整に当たっています。

地域挙げてのあいさつ運動、立志式やいじめ見逃しゼロスクール集会、職場体験など地域の皆様からもたくさん関わっていただいています。さらに、日頃の登下校の見守りなど、地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今年は、コロナウイルスの関係で、例年通りにはできないことも想定されますが、学校では、子どもたちにたくましく生きる力を付けるため、授業はもちろん、様々な活動を工夫して行っていく予定です。

特に義務教育最終年の中学3年生はじめ小学校生活を締めくくろうと卒業を意識している6年生たちが、一生懸命活動し、納得して巣立っていける環境づくり・行事づくりに向け、職員一同、知恵を出し合い総力を挙げて取り組む決意です。

刻々と変わる状況の中、臨機応変な対応、適切な判断、活動への合意形成等、それぞれの立場で奮闘されている皆様、もうしばらく耐えていきましょう。そして、子どもたちにとっても、この経験が人生を生き抜く糧になると信じています。コロナ後の新しい生活様式を模索し、大きく羽ばたき、直東学園をたくましく巣立って行って欲しいと願っています。

キャリア教育部会の取組

今年度もキャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進が直東学園の重点目標です。

直東学園5校ともに特色ある教育活動としてキャリア教育を大切にします。生活科・総合的な学習の時間を核に、教育活動全体を通して地域に根差した教育を推進します。

- 1 **キャリア教育でねらう資質・能力の育成を目的とした、生活科・総合的な学習の時間を中心とした単元づくりや実践の積み重ね**
・キャリア教育で育む資質・能力は次の5点。

- ① 人間関係形成力
- ② 自己理解・自己管理能力
- ③ 課題対応能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 郷土愛（⇒新潟県として強調）

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的に、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が交流し学び合う、「マスコミ学習」（5年）等を行います。



【5年「マスコミ学習」R元.11.14】

- 2 **キャリア・パスポートの周知と活用**

- ・教職員や保護者への周知と、実践を通して取り組み方を改善していきます。

- 3 **地域の教育資源を生かした活動の構想**

- ・学園支援本部の協力を得ていきます。
- ・地域の事業所の協力を得て、地域の人財を生かした授業づくりを進めます。

- 4 **多面的な評価と改善**

- ・教職員の評価と、児童生徒、保護者、学校運営協議会委員などの意見を参考に、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

生徒指導部会の取組

小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、次の3点に取り組みます。

- 1 **リーダーシップ・フォロワーシップの育成**

各学校の規模や実態に合わせ、集団の中でリーダー、フォロワーとしての役割を果たし解決する活動に取り組みます。小学校では縦割り班活動や集会活動、中学校では生徒会活動や学年活動の充実を図ります。



【縦割り班による異学年との活動 昨年の様子】

- 2 **小中5校の一層の連携と切れ目のない指導**

定期的に担当者が集まり、子どものことについて情報共有し、協力し合って指導します。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図ります。

- 3 **「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実**

集会を通して一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」意識を高めることを目指します。今年度は、11月24日（火）の午後から開催します。



【昨年度の集会でグループ活動の様子】

学力向上部会の取組

今年度の取組について紹介します。

1 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析の共有化と課題の明確化

○各校の結果を踏まえ、成果と課題を検討します。また、学園内共通取組の内容を協議します。

2 「ゲーム機とネット機器に関するアンケート調査（直東学園版R1）」の実態を踏まえた、学園内共通取組の確定と実践

○昨年度実施した児童生徒における実態調査をもとに、より望ましい生活習慣づくりに資する実践内容を確定し、学園内の共通実践を進めます。

3 研修会・学校間授業研究交流会による授業力の向上

(1) 学力向上研修会：6月5日（金）

上教大 赤坂真二先生を講師に迎え、「学級づくりの充実～ポストコロナショックの子どもたちに～」について研修を行いました。コロナ対応のため、東中で録画したデータを各校に配信し、1学期末までに校内研修を進めます。

(2) 学校間授業研究交流会：9月25日（金）

市授業改善支援訪問 春日新田小学校

(3) その他 中から小への出前授業

4 家庭学習の充実

(1) 「学年×10分」の徹底

(2) スタディ・ウィークの実施

・東中の定期テストや小学校の取組強調週間に合わせ9月中旬、11月上旬、1月下旬から2月上旬に実施

・共通資料の活用、取組内容などの情報交換

5 規律ある落ち着いた学習習慣づくりの推進

○「学習の約束10カ条」の徹底

6 ノーテレビノーゲーム運動の実施（毎月10日）

*児童生徒の学力及び生活力の向上を目指して、学校・家庭・地域が一体となり取り組みましょう。

同和教育部会の取組

今年度の取組として、各校の実践の成果の確認と活動計画の見直し及び授業改善を行って参ります。

これまでの取組を生かし、全ての教育活動のベースとして人権教育、同和教育を根付かせていくことを大切にして参ります。

【重点】

1 直江津東中学校区同和教育基底計画の見直しと確実な実践

昨年度に引き続き、基底計画の成果と課題の確認をし、基底計画の見直しを授業実践及びそのPDCAサイクルに基づいて、より効果のある計画になるよう改善を行います。4小学校は基底計画を中心とした実践を行い、知識や人権感覚等を同一步調で育て、中学校はそれを受けて継続的に同和教育を進めます。

2 人権問題の正しい認識と人権感覚を高め、授業改善を図るための教職員研修の充実

実現のためには、教職員の資質・能力を高めることが不可欠です。全人教新潟大会（来年度に延期）や白山会館での教職員等現地学習会へ積極的に参加をします。また、各校独自の講演会や研修会の実施、授業研究等は連絡し合い、相互に参加し合います。

3 家庭、地域と連携した取組の推進

行動に結び付く人権意識を育むためには、学校と家庭、地域が同じ方向を目指して取り組む必要があります。教職員、保護者、地域の人々が共に学ぶ場を大切にし、共に学び合うことで、地域全体の人権意識を高めます。



【R元.11.29 保倉小「ほくら人権の日」
ジャックポット「笑いでみんな幸せに」】

春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月8日(水)～15日(水)にあいさつ運動を行いました。コロナウイルス感染症の影響で例年とは異なった状況の中、ご協力ありがとうございました。町内会役員、交通安全協会、民生委員・児童委員、PTA、地域の皆様からアンケートに回答していただいた結果です。

1 立哨中に出会った大人の方とあいさつを交わしましたか。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
85%	11%	4%	0%

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にした	ウ 相手が先にした	無回答
41%	55%	4%	0%

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にした	ウ 相手が先にした	無回答
22%	67%	4%	7%

4月11日(土)上越タイムスに直江津東中学校区の活動内容が紹介され、中学3年生が玄関前で元気にあいさつしている様子が掲載されました。

上越市地域活動支援事業が採択されました。

令和2年度の直東学園の上越市地域活動支援事業への提案は2つです。北諏訪区、保倉区、有田区の3つの地域協議会にそれぞれ提案をしました。

一つ目は、「直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」です。地域として学校を応援する手引きとなる「学園要覧」や令和3年度小学校新入生用の「教育ハンドブック」を作成します。

二つ目は、「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。児童生徒の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の様々な活動を支援します。

児童生徒は主に4つの活動を行います。

- (1) 5つの学校に共通する活動：妙高自然の家での自然体験「仲間づくり活動」等
- (2) 4小学校共通活動：「マスコミに学ぶ」、「1/2成人式」
- (3) 各小学校の特色ある活動：地域の方と関わり合いながら体験をする「地域の人に学ぶ」等
- (4) 中学校の特色ある活動：卒業生から職業や生きがいについて学ぶ「ようこそ先輩」、「立志式」、「地域の先人に学ぶ」

事業費は、一つ目は45万8千円、二つ目は310万2千円で申請をしました。

6月4日(木)北諏訪区、6月8日(月)有田区、6月10日(水)保倉区でのヒアリングに出席し、それぞれの協議会でいずれの事業も採択されました。

お知らせ 第1号で掲載した内容については、直東学園運営協議会、各学校運営協議会でそれぞれ承認されました。1年間よろしくお願いします。